

「履歴書」の記入例

それぞれ応募される専門分野・領域で審査を受けることを念頭に適切且つ正確な内容で記載してください。

履 歴 書		
(一部抜粋)		
学 歴		
年月(西暦)	事項 ※高校卒業から記載してください。	学位取得状況
1998年3月15日	大阪府立〇〇高等学校 卒業	
1998年4月1日	〇〇大学 工学部 化学物理工学科 入学	
2002年3月31日	同 卒業	〇〇大学 学士(工学)
2002年4月1日	〇〇大学大学院 工学研究科 博士前期課程 化学物理工学専攻 入学	
2003年3月25日	同 修了	
2004年4月1日	〇〇大学大学院 工学研究科 博士後期課程 工業化学専攻 入学	〇〇大学 修士(工学)
2007年3月25日	同 (単位取得) 退学	
2007年3月25日	博士論文名「Analysis Method of Chemical Material」(化学物質の分析手法に関する研究)	〇〇大学 博士(工学)
職 歴		
2005年4月1日～ 2006年3月31日	日本学術振興会特別研究員 DC2 (所属：〇〇大学)	日本学術振興会
2007年10月1日～ 2008年3月31日	〇〇大学大学院 工学研究科 工業化学専攻 客員研究員	〇〇法人・理事長
2008年4月1日～ 2012年3月31日	〇〇大学大学院 工学研究科 工業化学専攻 助教	〇〇法人・理事長
2012年4月1日～	□□大学 工学部・工学研究科 講師 (現在に至る)	学校法人□□大学・ 理事長
賞 罰		
2014年9月19日	第50回 〇〇学会 年次大会 最優秀ポスター賞	〇〇学会
資 格		
2009年10月	〇種危険物取扱者	

※1. 原本の写真貼り付け欄には、写真(タテ4cm×ヨコ3cm、裏面に名前を記入)を必ず1枚添付してください。

※2. 研究生等の期間がある者は、博士課程(博士後期課程)修了後の場合は「職歴」欄に記入し、それ以外は「学歴」欄に記入してください。

「研究業績」の記入例

研 究 業 績			
			氏 名： <u>公 大 太 郎</u>
I 著 書			
著 書 名	発行所名	発行年月 (西暦)	著者、分担 執筆者等
1. 化学ことはじめ	関西出版社 (総ページ数：123)	2012.5	<u>公大 太郎</u>
2. 化学入門	大阪都市出版社 (pp.85-110)	2013.7	<u>公大 太郎</u> 堺 花子
3. Physical Handbook (The 3 rd Edition) Chapter 5	Haagen-Dazs Inc. (pp.123-154)	2014.6	公大 太郎 (分担執筆)
以上、著書総数3報 (うち、単著1報、分担執筆2報)			
II 論 文			
論 文 名	発表機関名 (雑誌名)、 巻号、ページ	発表年月 (西暦)	著者
A. 化学物質が示す物理化学挙動に関する研究 1. Experimental Study on Chemical-Induced Structural Transition of ABC	J. Phys. Chem. A, Vol.100, pp.12-18	2010.3	<u>T. Koudai</u> H. Sakai J. Osaka
B. 化学物質の合成に関する研究 1. Synthesis of Chemical Martials by Continuous Reaction	J. Advanced Chemistry, Vol. 20, pp.100-107	2015.7	<u>T. Koudai</u> H.Sakai ^D J. Osaka
2. Characterization of Material by Scanning Electron Microscopy	Chemical Surface Analysis, Vol. 10, pp.200-205	2016.12	H. Sakai <u>T. Koudai</u> J. Osaka S. Nagoya ^D
C. 物理現象の解析に関する研究 1. 天体の位置と動きの測定に関する研究	天体科学 http://www.science-direct/publication/jse/v10n1/Schafer-234.html	2017.2	<u>公大 太郎*</u> 堺 花子
1' Measurement of Position and Motion of Celestial Bodies (論文1の英訳)	J. Astrophysics Vol. 25, pp.95-105	2017.8	<u>T. koudai*</u> H. Sakai
以上、論文総数4報 (うち、筆頭著者・責任著者数3報)			

※1. 「論文」は査読のある原著論文を意味しており、これを適当なテーマ別に分け、その中で年度・月順に並べ、ナンバリングしてください。

※2. 同じ内容の論文(和文・英文など)については、同じ番号を附番して、数字の後にダッシュ(´)を付けてください。

※3. 連名論文の内、連名者の誰かがドクター論文として使用した場合は、その人の名前の肩にD印を付けてください。

「研究業績」の記入例 (つづき)

研 究 業 績			
			氏 名 : <u>公 大 太 郎</u>
III 国際会議論文等			
著 書 名	学会名、論文等の番号、場所	発表年月 (西暦)	著者
A. 化学物質が示す化学挙動に関する研究 1. Numerical Study on Chemical Behavior of AB-CDE	Proc. of the 2013 AChS (American Chemical Society) Annual Meeting, pp.123-134 (San Francisco, USA)	2013.5	<u>T. Koudai</u> H. Sakai J. Osaka
B. 化学物質の合成に関する研究 1. Synthesis of Chemical Martials by Batch Reaction	Proc. of the 10th USA-Japan Symposium on Chemicals & Physics, Paper #452 (Total 5pages) (CD-ROM) (Orlando, USA)	2014.12	H. Sakai <u>T. Koudai</u> J. Osaka ^D
2. Characterization of Material by Scanning Electron Microscopy	Proc. of the 5th International Conference on Chemistry, pp.12-15 (Kobe, Japan)	2015.9	<u>T. Koudai</u> J. Osaka H. Sakai S. Nagoya
C. 物理現象の解析に関する研究 1. Analysis on Lunar Movement by using a Telescope	Proc. of 10 th International Conference on Lunar, p.204 (London, UK)	2017.8	<u>T. Koudai</u> H. Sakai J. Osaka
以上、国際会議論文発表総数 4 報 (うち、筆頭著者数 3 報)			

研 究 業 績			
			氏 名 : <u>公 大 太 郎</u>
IV 解説・総説等			
著 書 名	学会名、論文等の番号、場所	発表年月 (西暦)	著者
1. 化学物質が示す化学挙動に関する研究	化学と産業, Vol. 10, pp.100-103	2015.4	<u>公大 太郎</u> 堺 花子
以上、解説・総説総数 1 報 (うち、筆頭著者は 1 報)			

※4. 著書・論文の次に、国際会議論文、解説、総説、学会発表の順で記載してください。

※5. 論文等は、掲載（発表）済みもしくは掲載（発表）が決定したものを記入することとし、投稿中などの未確定なものは除いてください。

「学会ならびに社会における活動」の記入例

学会ならびに社会における活動	
氏名： <u>公大太郎</u>	
年月日(西暦)	事項
1999年9月1日～ 2003年3月31日	〇〇学会 学生会員
2005年4月15日～ 現在	化学物理学会 正会員
2012年9月12日～ 2012年9月15日	日本物理化学学会 第〇回・2014年度 年次大会 運営委員
2015年4月1日～ 現在	日本物理化学学会 理事
2016年4月1日～ 現在	大阪府 公害対策審議会 委員
2019年4月1日～ 2020年3月31日	経済産業省 産業技術審議会 専門委員

※6. 「学会ならびに社会における活動」は、上記の記入例を参考に記載してください。

「特許」の記入例

特 許			
氏名： <u>公大太郎</u>			
I 特許登録			
特許名	特許登録番号	登録年月(西暦)	発明者
1. 化学物質の計測方法	特許第 501234 号	2016.9	<u>公大 太郎</u> 堺 花子
II 特許公開			
特許名	特許公開番号	登録年月(西暦)	発明者
1. 化学物質の製造方法	特願 2015-23456	2015.6	公大 太郎

※7. 特許があれば、その出願状況を記載してください。

「外部資金」の記入例

外 部 資 金				
				氏 名： <u>公 大 太 郎</u>
I 科学研究費補助金等				
研究課題名	研究種目名	期間	金額(千円)	代表・分担の 区別
1. 科学物質が示す化学挙動に関する研究	科学研究費助成事業・基盤研究 (C)	2012.4～ 2015.3	4,890 千円	代表
2. 化学物質の測定方法に関する研究	科学研究費助成事業・基盤研究 (B)	2017.4～ 2019.3	総額 25,000 千円 (分担 9,000 千円)	分担
II 教育・研究奨励寄付金等				
研究課題名	受託研究先	期間	金額(千円)	代表・分担の 区別
1. 化学物質の合成法に関する研究	日本合成学会(大学院生研究奨励賞)	2010.5～ 2011.3	150 千円	代表
III 受託研究				
研究課題名	受託研究先	期間	金額(千円)	代表・分担の 区別
1. 化学物質の連続反応に関する研究	日本化学技術財団	2017.6～ 2018.3	総額 12,000 千円(分担 4,500 千円)	分担
2. 化学反応の解析に関する研究	化学反応振興財団	2019.4～ 2020.3	総額 10,000 千円 (分担 0)	分担
IV 共同研究等				
研究課題名	受託研究先	期間	金額(千円)	代表・分担の 区別
1. 化学物質の微量合成	東日本特殊技術株式会社	2015.4～ 2016.3	総額 4,000 千円	代表

※8. 各項目に採択を受けた順(時系列)に記載してください。

「教育業績」の記入例

教育業績					
氏名：公大太郎					
期間	科目名	機関名	職階	担当・分担・補助	備考
2008年4月1日～ 2009年3月31日	化学実験 (学部)	〇〇大学院・工学研 究科	TA	補助 (10回)	従事
2011年4月1日～ 2012年3月31日	化学実験Ⅰ・Ⅱ (学部)	〇〇都立大学・工学 部	助教	分担 (6回)	
2012年4月1日～ 2015年3月31日	化学入門 (学部)	〇〇科学大学・工学 部	専任 講師	主担当	
2015年4月1日～ 現在	応用化学特論 (大学院)	〇〇科学大学院・工 学研究科	専任 講師	分担 (オムニバス 3回)	
2016年4月1日～ 現在	化学入門(学部)	□□大学 理工学部	非常勤 講師	主担当 (前期・後期 で計2コマ)	
その他の教育業績					
期間	内容				
2012年4月1日～ 2013年3月31日	〇〇科学大学 工学部・工学研究科 FD委員会 委員				
2015年4月1日～ 現在	〇〇科学大学院 工学研究科 〇〇分野研究室(〇〇教授)の論文指導補助 (M1～2:5名、D1～3:3名)				
2016年2月	□□大学「化学入門」の講義を基に、「テキスト化学入門」を2023年3月に〇〇 出版か発刊予定				

※9. 「科目名」の後ろに、開講科目の区分として、(学部)・(大学院)の別を明確にしてください。

※10. TAで授業の「補助(〇回)」・「従事」と記載してください。

※11. オムニバスや分担者として従事している場合は、「分担(〇回)」と記載してください。

※12. 授業実施回数のすべてを担当とした場合は、「主担当」と記載してください。

※13. 同一科目で学期毎に複数開講の場合はコマ数を記載してください。

その他、様式任意（様式不問）の書類について

情報学研究科では、募集要項の応募書類に記載のとおり、様式任意（様式不問）で以下の書類の提出をお願いしております。

- (4) 提出した著書または論文の概要（各400字程度、様式不問）
- (5) これまでの研究概要（A4判2ページ程度、様式不問で図を含んでよい）
- (6) 採用後の研究計画（A4判2ページ程度、様式不問で図を含んでよい）
- (7) 教育に関する抱負（A4判1ページ程度、様式不問）
- (8) 「社会貢献」と「大学運営」に関する今後の抱負（A4判1ページ以内、様式不問）
- (9) 自己アピール（A4判1ページ程度、様式不問）

(4) 「主要な著書または論文の概要」の作成例

主要な著書または論文の概要

氏名：公 大 太 郎

論文名	概要（各400字）
A. 化学物質が示す物理化学挙動に関する研究 1. Experimental Study on Chemical-Induced Structural Transition of ABC	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○
B. 化学物質の合成に関する研究 1. Synthesis of Chemical Martials by Continuous Reaction	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○

(7) 「教育に関する抱負」の作成例

教育に関する抱負

氏名：公 大 太 郎

1. ○○について

2. ○○○

3. ○○○○

※ 項目を立てるなどして読みやすさにも配慮してください。